

飲酒における事故防止等について

新年度が始まり、クラブのコンパなど多くの飲酒の機会がありますが、全国では大学生の飲酒による事故が発生し、中には死亡者も出ています。今一度、下記のことを留意し、大学生としての自覚と責任を持って節度ある行動を心がけてください。

記

1 未成年者の飲酒禁止

満 20 歳未満の飲酒は、法律（未成年者飲酒禁止法）で禁止されており、飲酒を勧めた人も法律で罰せられます。学年をまたがった飲み会の際は、未成年者を確認し合い、飲酒をしない・させないようお互いに注意してください。クラブの新入生歓迎会は多くの学生が未成年であるため、特に気を付けてください。

2 イッキ飲みの禁止

短時間に大量の飲酒をすると血中アルコール濃度が急激に上昇し、一気に泥酔・昏睡の状態に進み、場合によっては呼吸困難等危険な状態を引き起こすことがありますので、絶対にそのような行為はしないでください。無理な飲酒は死に至る危険性があることを十分認識してください。

3 アルコールハラスメントの禁止

嫌がる相手に無理やり飲ませることはアルコールハラスメント（アルハラ）ですが、飲まざるを得ない雰囲気を作ることもアルハラ的一种です。飲めない人への配慮を欠くこと、酔ったうえでの迷惑行為などはすべてアルハラとなります。お酒が弱い・飲めない人は、たとえ強引な勧めでも断る勇気が必要です。

4 救護に関する知識

急性アルコール中毒患者を出すような飲酒の席は不適切ではありますが、万が一酔いつぶれた人が出た場合は次の行動を取ってください。

- ①絶対に一人にせず、目を覚ますまで必ず誰かが付き添うこと
- ②体温の低下を防ぎ、衣服を緩めて毛布などで温めること
- ③寝かせるときは必ず横向きにする

また、次の状態の場合は、ためらわずに救急車を呼んでください。

- ・大いびきをかいて、つねっても反応がない
- ・ゆすって呼びかけても、まったく反応がない
- ・体温が下がり、全身が冷たくなっている
- ・倒れて口から泡をふいている
- ・呼吸が異常に早くて浅い。または、時々しか息をしていない

5 その他

酒に酔った状態では、高いところからの転落や転倒、事故や事件に巻き込まれる危険性も高くなりますので、十分に注意してください。飲酒後に自動車や自転車およびバイクの運転をしないことはもちろんですが、万が一事故等に遭遇したときは、ただちに所轄の警察署と大学へ連絡してください。